

平成26年1月定例教育委員会会議録

1. 開会宣言 平成26年1月6日(月) 14時00分
2. 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
3. 出席者 河本委員長・中尾委員・衛藤委員
左京委員・増田教育長
4. 教育委員会事務局出席者
松尾教育部長 深見学校教育課長
木森中央公民館長 安永生涯学習課長
佐伯図書館長 田中教育総務課長
毛利学校教育課長補佐 尾中指導主事
米満教育総務課長補佐
5. 傍聴人 2人
6. 議 題
 - (1) 前回会議録の承認について
 - ・平成25年12月臨時教育委員会会議録
 - (2) 報告
 - ・平成26年1月学校教育行事及び社会教育行事について
 - ・その他
 - (3) 協議事項
 - ・平成26年2月定例教育委員会の開催について
 - ・平成26年2月臨時教育委員会の開催について
 - ・その他
 - (4) 議決事項
 - 第1号議案 中間市立図書館運営規則の一部を改正する規則
 - 第2号議案 中間市市民会館設置条例施行規則の一部を改正する規則

7. 審議の経過及び結果

- (1) 前回会議録の承認について
平成25年12月臨時教育委員会会議録、出席委員全員了承する。
- (2) 報告

平成26年1月学校教育行事及び社会教育行事について

●学校教育、社会教育それぞれ1月の行事予定表に基づき関係課長から順次報告がなされた。

質 疑 応 答

〈中尾委員〉

底井野小学校と中間南小学校で租税教室がありますが、キャリア教育につながりますので他の小学校でも是非、希望していただきたいと思います。

また、冬休みの間、学校の方から何か報告事項等、入っておりましたら教えて下さい。

〈深見学校教育課長〉

今のところ、事故等の報告は入っておりません。

〈左京委員〉

小学校の方で1月29日を中心に標準学力調査が行われ、国語・算数でCRTテストというかたちの中で年間の指導目標の実現状況を確認するための検査であると同っておりますが、この調査と全国学力学習状況調査の結果に相関関係があるのか比較されたことがあるのかお伺いしたいと思います。

〈尾中指導主事〉

昨年度までのCRT検査では、全国学力学習状況検査との問題の傾向が異なる部分が多くありました。その問題から相関を図ることは難しいと思われまます。しかし、今年から行われます東京書籍の標準学力検査の問題を見ますと、全国学力学習調査の問題と似ている所がかなりありまして、よくいわれるB問題が苦手、思考力・判断力・表現力を問う問題が苦手というところだったのですが、これがしっかり問われるような問題作りがされていますので、今年度のこの問題からの整合性を図ることには意味があると思えます。

〈左京委員〉

私がお聞きしたかったのは問題の中身もあるかもですが、それにおける結果ですね、標準学力検査の結果、ようするに成績のある程度、上位の学校が全国学力学習状況調査においても良い結果を修めている、その結果の相関関係があるのかどうかをお伺いしたいのですが。

〈深見学校教育課長〉

全国の方は、小学校は6年生だけが対象で、以前、行っておりましたCRT、今年からは標準学力検査に変わっていますが、これについては1年生から6年生までということで、6年生だけを見ましたら、だいたい似たような傾向があります。ただ、学校ごとで見ましたら必ずしもそうではない場合もあります。

〈左京委員〉

標準学力検査は例年1月に行われ、全国学力学習状況調査は4月ですよ、という事は基本的に本年度の小学校6年生の児童は、昨年(小学校5年生)の時にこの検査を受けているという事ですよ。期間的には接近している中で、やはりCRTの結果がよければそれが全国の調査にも反映されている事であれば、ある程度、相関関係があるのかなと思えますが、そうでなければ全国学力学習状況調査実施要領にあるように、この調査により把握できるのは学力の特定の一部ということにもつながると思えます。

〈深見学校教育課長〉

CRTにつきましては、平成22年度から3年間行っていて、どちらかといえば全国学力のA問題に近い、要するに、基礎的な問題ができていくかを把握する分には良かったのですが、表現力・判断力等を問うB問題については若干わかりにくい部分がありましたので、今回から標準学力検査を行う事にしました。

〈増田教育長〉

この件につきましては、今年の学力調査から、学校からの反省点・問題点を提出する際、この調査のデータを含んだ中で判断するよう指導しています。1つのテストで6年生だけの判断ではなく、1年から6年までの伸び方等のデータを含めた中で評価を出す様に指導しています。

公表の行い方は、今後も協議していきたいと思えます。

●その他

特になし

(3) 協議事項

●平成26年2月定例教育委員会の開催について

〈田中教育総務課長〉

平成26年2月4日(火)14時00分開催

●平成26年2月臨時教育委員会の開催について

〈田中教育総務課長〉

平成26年2月13日(木)14時00分開催(非公開)

●その他

〈深見学校教育課長〉

○全国学力学習状況調査の公表について

現段階での各委員さんのお考えがありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

<左京委員>

公表をする意味ということは、文部科学省が出している実施要項にありますように、保護者や地域の方への説明責任を果たすことが重要である。また、公表するにあたっては序列化や過度の競争が生じないように配慮することが重要であるとしております。逆にいうと、そういった配慮する事が重要ということは、そういう事がややもすると有りゆると懸念するからだと思います。

そういった事を踏まえまして、学校・PTA・北九州管内の教育長会等で充分議論されて総合的に判断されて頂きたいと思います。

<増田教育長>

12月の県議会で知事は、「学校や地域の学力を向上させるためには、保護者や地域住民が児童生徒・学校・地域の実情を知り、地域全体で学力の向上・教育力の向上に取り組むことが重要であるので学校結果は出来る限り公表されることが望ましいと考えている」と、知事が言っている流れが全体的にあって県教育長も同様に応えている状況であります。公表する場合における公表の仕方を工夫していかないと、現場・地域も混乱してくるのではないかと思います。

<中尾委員>

今後、十分な協議を行った上で判断していきたいと思いますが、保護者としては子どもたちが通っている学校が、どの程度なのかを知りたいと思う部分が十分にあるとは思いますが、良い所は公表したことで授業改善にも充分取組んで頂ける可能性が残っているという事です。ただ、順位とか公表されてしまうと、学力テストだけを意識した授業になってしまう事で、それ以外の道徳等、大事な授業がおろそかになってしまうのではという危惧が考えられますので、学校側等いろいろな場所で協議した上で決定していきたいと思います。

<衛藤委員>

保護者の関心事は、自分たちの子どもたちが通っている学校がどの位置にあるのかという事だろうと思いますが、それを知らせる事で学校や子どもたちが振り回される様な結果の公表の仕方は問題が残ると思いますので、どの様にすれば学校・子どものためになるのかを十分に考えないと公表する・しないの判断は難しいと思います。今後、具体的な問題が出てくると思いますので、その際に判断しながら意見を述べて行きたいと思います。

<河本委員長>

この件につきましては、周りの状況をみながら慎重に進めていかなければいけないと思います。

(4)議決事項

第1号議案 中間市立図書館運営規則の一部を改正する規則

第2号議案 中間市市民会館設置条例施行規則の一部を改正する規則

上記、事項について、出席委員全員協議の結果、承認をした。